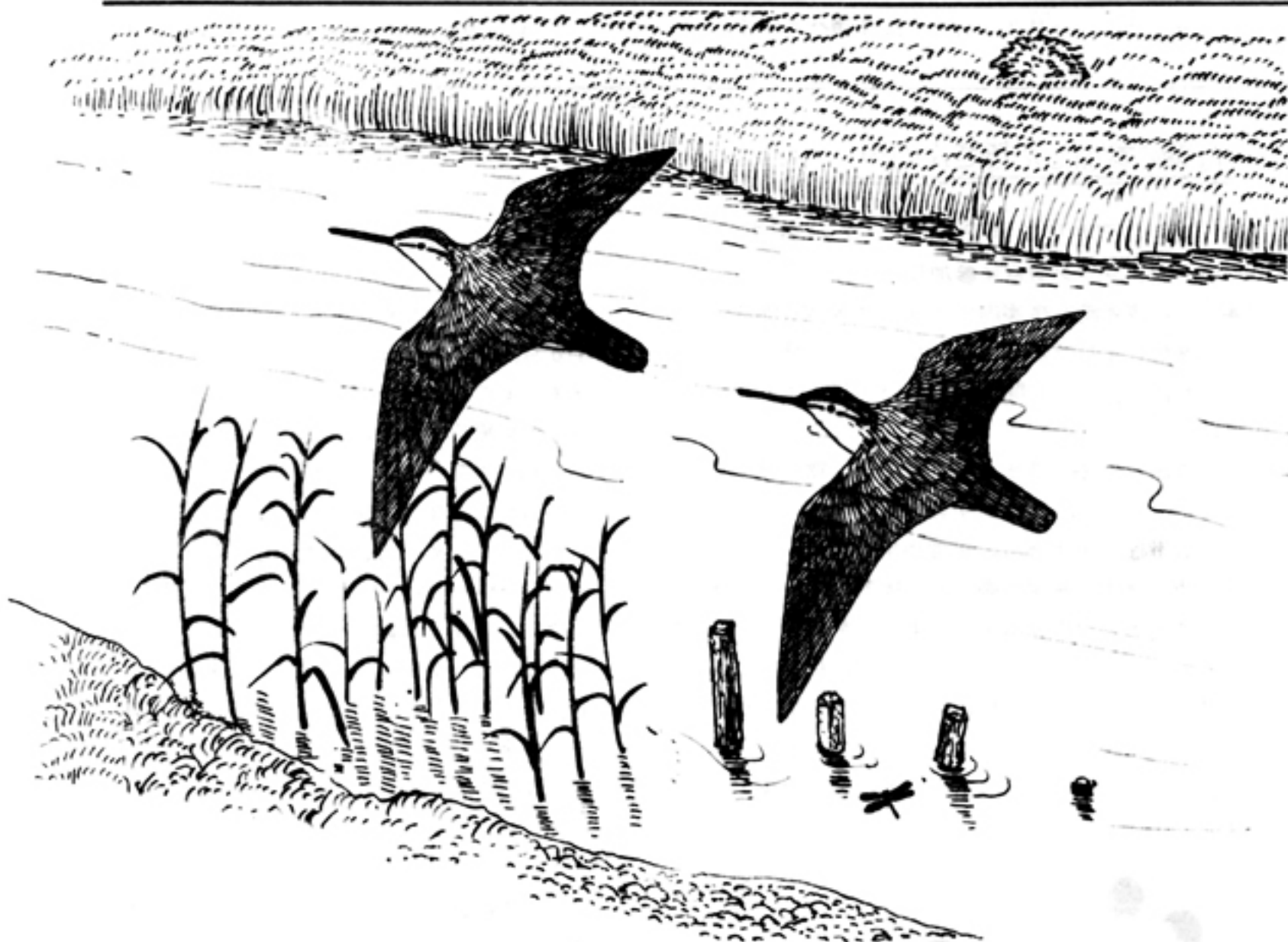


ひはくぶつかん

HIRATSUKA CITY MUSEUM VOL 3 NO 6 1978. 9 . 1
平塚市博物館 TNO



9月の行事

● 中学校作品展

理科 9月22日(金) 24日(日)
社会 9月30日(土) 10月1日(日)
主催 平塚市中学校教育研究会
内容 市内中学生の夏休み自由研究の力作を
展示します。

● 星を見る会

「月と金星を見よう」

9月14日 午後6時～8時
申し込み 9月4日までに往復ハガキで。
定員 多いときは抽選で30名
小学生以下は父兄同伴で申し込む。

9月の鳥 キアシシギ

ススキのゆれる山の土手を歩いていると、ビューーと澄んだ声が出て、灰色の鳥が小さな編隊を組んで川面を飛びすぎることがあります。8月から9月にかけて、海辺の干潟や川原でよく姿を見かけるこの鳥はキアシシギ、シベリアの繁殖地から南方の越冬地へ向かう旅の途中の渡り鳥です。夜ふけの頃、空高く渡っていくこの鳥の声に気がつくことも少なくありません。

「秋の星雲・星団を見よう」

10月21日 午後6時～8時
申し込み 10月11日までに往復ハガキで。
定員 多いときは抽選で30名
小学生以下は父兄同伴で申し込む。

10月の行事予定

● 自然観察会

10月8日(日) 午前9時～午後3時

内容 クリノメーターの使い方

場所 旭方面

申し込み 9月30日までに往復ハガキで。

● 体験学習シリーズ№26

「でんぷんを作ろう」

10月29日(日) 9時～4時

午前中はくずの根を掘り、午後はでんぷんをとるやり方を、かんたんに実験します。

行事に参加した皆さんの声

● 市民のアトリエ第2回デッサン教室

第2回デッサン教室に参加して

◎7月の博物館行事案内でデッサン教室開催を知って参加しましたが、参加した皆さんの熱心なのに引かれて、10日間があつという間に過ぎました。

9時から午後5時まで一心になって物を見つめるということは、こういう教室でないと、自宅などでは到底できません。参加出来て本当によかったですと思います。平面の画面に立体的物体をどう描いてゆくかという基本的な原則方法を教えて頂いたので、デッサンというものが如何にむずかしく、同時に絵を描く上で如何に大切かという事を初めて知り、今後これに基いて大いに勉強訓練を重ねて、来年の教室にも参加したいものと思っています。



◎9時から午後5時までというのは、ちょっときつと思います。10時から午後3時あるいは午後4時までくらいの方がいいのでは？ 11日間通してよりも、課題によって日数を決め3回くらいに分けた方が、もっといろんな人が来やすいと思います。

◎このように誰でも参加できる講座を設けて下さった事を感謝します。大変むずかしいと思いましたが非常にためになりました。お陰様でむずかしいと思っていた面取りをおぼえましたので色々な面に応用してゆきたいと思っています。

◎将来の目的のために、この教室にきました。

10日間はいつになく充実した日々だったと思います。ものを観察すること、画面に描く事のむずかしさを感じました。とりわけ石膏像を描いたとき「私は人間(とってわかりませんが)を知らなかったのだな」と反省しました。こんな風に描いたのははじめてで、まだおもしろ味を知るまでもいかなかったけれど、描くことの手掛りを知れた事は、貴重な体験となったと思うのです。ただ残念なのは、期間が短かく、また来年くるにしても、その1年間、自分で描くにしても、批評や指摘、刺激のない環境になってしまう事です。1週間に1回の割合でも定期的に使っていただけるなら…と思うばかりです。美大に行くまででないが、美術をやってみたいと思う人は多い様に思うのです。人数は、30名とあり、妥当だと思った反面多いのではと感じましたが、実際には15.6名で落ついて描けたと思います。年齢層の広いのは魅力的でした。それぞれの人の自分の生活に対する姿勢がむしろ気迫となっていたように見え、私も大いに刺激されたと言えます。人物画をやってみたかった、少しものたりないと感じたのが残念。きっかけをつかむことは、大切だと思いました。とにかく、参加してよかった。親は「あんまり期待しない方が」と言いましたが、確かな手ごたえは、あったと明言できると確信しています。

はくぶつかん VOL3 №6

発行：平塚市博物館

〒254 平塚市浅間町12-41

TEL 0463-33-5111 通巻29

印刷：平塚市総務部行政課文書係